



2022年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 紀陽銀行
 代表者 取締役頭取 原口 裕之
 (コード番号 8370 東証プライム)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員
 経営企画本部長 横山 達慶
 (TEL 073-426-7133)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,000	10,600	7,200	108.62
今回修正予想(B)	42,720	13,050	9,300	140.91
増減額(B-A)	3,720	2,450	2,100	
増減率(%)	9.5	23.1	29.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	41,997	13,715	8,970	133.18

2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,300	10,000	6,800	102.59
今回修正予想(B)	38,210	12,350	8,840	133.94
増減額(B-A)	3,910	2,350	2,040	
増減率(%)	11.4	23.5	30.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	37,741	13,048	8,569	127.22

修正の理由

銀行単体において、貸出金利息や役員取引等収益などが当初予想を上回る見込みであることに加え、与信コストや経費が当初予想を下回る見込みであります。また、外国債券等の売却損を計上しましたが、一方で株式等売却益が当初予想を上回る見込みであります。

以上の要因などから、2023年3月期第2四半期(累計)の連結及び個別の業績予想を上方修正いたします。

なお、2023年3月期通期の業績予想につきましては、今後の経済・金融情勢等が不透明であることなどから、前回公表予想数値を据え置きといたします。

本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上